NSENGI

ニュースリリース

２０１６年　３月２９日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

四日市市クリーンセンターの竣工について
～ ゼロエミッション（埋め立て物ゼロ）型ごみ処理システムの実現 ～

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：藤原 真一、本社：東京都品川区、以下「当社」）は、四日市市から受注した「新総合ごみ処理施設整備・運営事業（以下「本事業」）」に基づき、「四日市市クリーンセンター（以下「本施設」）」を竣工いたしました。2016 年 3 月 28 日に市主催の「竣工式」が開催され、2016 年 4 月より本事業の運営業務が開始されます。

本施設では、これまで直接埋め立てていた廃プラスチック類や不燃ごみなどを処理して埋め立てごみを大きく減らすとともに、ごみ処理の過程で発生するエネルギーをできる限り回収して発電などへ有効活用することが求められました。当社は、35 年超の稼働実績に裏付けられた当社シャフト炉式ガス化溶融炉の特長（1,800 度での高温溶融、発生するスラグ・メタルの有効活用による最終処分量の低減、積極的なエネルギー回収、万全な環境対策）によりこの課題を解決し、通常は埋め立て処分される集じん灰も全量資源化されるため、最終処分場への埋め立て物が無い、ゼロエミッション（埋め立て物ゼロ）型ごみ処理システムを実現します。また、本施設では、三重県で最大規模となる廃棄物発電設備（9,000kW）を設け、エネルギーの有効活用を実現します。

本施設の竣工で、当社シャフト炉式ガス化溶融炉の国内稼働実績は 40 件で国内最多、三重県内では亀山市 80 ㌧/日（40 ㌧/日×2 炉）、鳥羽志勢広域連合 95 ㌧（47.5 ㌧/日×2 炉）に次いで 3 件目となります。

本事業は、一般廃棄物処理施設の建設、施設の運営・維持管理（20 年間）を一括して行いますが（事業方式は DBO 方式）、2016 年 4 月からは、当社が本事業のために設立した特別目的会社「株式会社四日市クリーンシステム」が本施設の運営・維持管理を行います。

当社は、シャフト炉式ガス化溶融炉の建設と運営・維持管理によって、地域の貴重な自然環境に調和する安全・安心な廃棄物処理を通じ、循環型社会の実現へ積極的に取組んでまいります。

【本施設の全景】

【竣工式の様子】

・左端　　：藤原社長

・左から６番目：田中四日市市長

【参考】

１．建設請負契約の内容

１）工事名称　：四日市市新総合ごみ処理施設　建設工事

２）工事場所　：四日市市　垂坂町　地内

３）建設工期　：平成２４年１０月５日～平成２８年３月３１日

４）施設規模　：焼却施設　　３３６トン／日（１１２トン／日×３炉）

破砕処理施設　　３２トン／日

２．運営・維持管理業務委託契約の内容

１）業務内容　：新総合ごみ処理施設の運営及び維持管理業務

２）運営期間　：平成２８年４月１日～平成４８年３月３１日（20 年間）

３）契約者　　：株式会社四日市クリーンシステム

※本件事業のための特別目的会社（ＳＰＣ）

［お問い合わせ先］

ＣＳＲ･広報部　広報室　０３－６６６５－２３６６

URL　https://www.eng.nssmc.com/ask/

以　上